

令和2年度

# 総 会 議 案

荻窪地域区民センター協議会

# 目 次

第1号議案	令和元年度 事業報告	1
①	概要	1
②	各種活動のまとめ	4
③	各部報告	
	総務部	5
	事業企画部	6
	地域交流部	9
	広報部	11
第2号議案	令和元年度 事業会計収支決算報告	12
第3号議案	令和2年度 事業計画 (案)	15
①	概要	15
②	各部計画 (案)	17
第4号議案	令和2年度 収支予算 (案)	18
(参考資料)	委員名簿	20

# 第 1 号 議 案

## 令和元年度 事業報告

### ① 概 要

平成 31 年 4 月から新役員（21 期）が中心になって運営しました。運営にあたって会則第 3 条にある目的「良好なコミュニティを形成することにより、住みよいまちづくりを進めること」に少しでも貢献するように心がけました。この視点から新たに取り組んだことを以下にまとめます。なお、事業の詳細は「②各種活動のまとめ」および「③各部報告」をご覧ください。

おぎくぼセンター祭：定番の企画に加えて、以下のような地域に役立つ新しい企画を積極的に取り入れました。近隣のネパール人学校エベレスト・インターナショナルスクールの生徒が初参加して、ネパール民族舞踊を披露してくれました。地域の方に外国の子どもの演技を楽しんでもらうとともに、外国人学校の認知度を地域で高めるお手伝いことができました。地元農家の協力を得て杉並産野菜の直売を行い、大変好評でした。杉並の農業生産者と地域住民の橋渡しのお手伝いことができました。また、3 種類の苗木計 200 本を東京都から提供を受け、参加者に無料配布して大変喜ばれました。

テーマに防災の要素を取入れ、防災食の試食を行い好評でした。

本天沼集会所まつり：地元農協の協力を得て杉並産野菜の直売と、都と区の提供により苗木 150 本の無料配布を行い大変好評でした。

アート展：新型コロナウイルス感染症対策のため、開催間際でありましたが、例年実施していた飲食の提供などの催しを中止し、作品展示のみで実施しました。そのため来場者は減りましたが、余裕をもってアート作品の鑑賞ができたことと好評な面もありました。また、特別展示「荻窪ゆかりの彫刻家・日本のオカリナーの父」明田川孝氏の作品展示によって、これまであまり知られていなかった地域の芸術家を皆様に知ってもらうことができました。

防災フォーラム：従前の防災フォーラムを根本から見直し、町会の横の連携を強化する一助となることを目指し、管内各町会の防災担当者にお集まりいただき、地域の防災への取組の紹介・防災に関する地域間懇談会を実施し成果を上げました。また、センター祭や集会所まつりなどの、多数の参加者があるイベントに防災関連企画として「防災クイズ」等を実施し、より多くの地域住民の防災意識涵養に取り組むことができました。

地域懇談会：地域の様々な団体・個人がより深く・より広く知り合うきっかけの場として、参加者同士の交流を図る「交流タイム」と各団体と地域センターがより緊密な関係を築くための「グループ討議タイム」の二部構成としました。グループ討議のテーマとして「センター協議会は何をお手伝いできますか？何をお手伝いしていただけますか？」を設定し、活発な議論が行われました。荻窪地域区民センター協議会の活動指針として『「ふれあいと交流」を基本に、一步進めて、地域課題を解決するために、地域で活動する様々な団体を結び、ネットワークを作り、地域を活性化していきます。』を紹介しました。

地域交流会こみゆに亭：食を介して多世代の地域の皆様が出会う場を作ることによって、地域コミュニティ形成を目指す新企画を立ち上げました。昼食を中心にして、第1回は西田小学校と桃井第二小学校の児童・保護者を対象とし、第2回は食を介したコミュニティ作りに関心のある地域の方々を対象に実施しました。参加者から次年度も是非継続して実施してほしいという声を多くいただきましたので、コミュニティ形成に対する「食」の持つ力を次年度でさらに活用します。

道の愛称プロジェクト：前年度決定した「荻外荘通り」の認知度を上げて定着させるためにプレートを作成し、沿道住民のご協力を得て5か所に設置しました。有志の発掘と設置作業は中澤前会長、プレートのデザインについては松井前副会長の多大な協力を頂きました。今後も区と十分連携をとって定着に向け推進していきます。

荻窪の記憶プロジェクト：本年度は南荻窪と宮前についての調査を行いパネルに纏め、次年度に荻窪地域区民センター玄関ロビーと郷土博物館分館で展示を行います。松井前副会長と地域の有志の多大な貢献で実現できました。プロジェクトが協力して、杉並区が荻窪駅地下通路（南口b階段付近）に「写真が伝える『荻窪の記憶』」パネルを設置しました。パネルには「協力：荻窪地域区民センター協議会」と記載されています。

館外講座「国会見学会」：初めての企画講座で、一般の国会見学では体験できない見学会が議員秘書の案内により大変好評でした。このように講座企画も地域住民の要望に応えるべく進化させています。

講座後の懇談：講座終了後に講師を囲んで懇談の場を持ち、参加者と講師、参加者同士の交流を深める試みをしました。大変好評でしたので今後も継続していきます。

ホームページ：情報更新頻度を高めて、地域住民に対してタイムリーな情報提供を行いました。また、ID とパスワードで保護された協議会専用サイトを新設し、委員が委員会資料、アンケート、スケジュール等を簡単に閲覧できるようになり、委員会活動の利便性と情報共有が進展しました。

#### 新型コロナウイルス感染症への対応について

杉並区は、新型コロナウイルス感染症への対応として、令和2年3月6日に3月9日から3月31日まで、地域区民センターをすべて休館することを決定しました。

協議会としては、新型コロナウイルス感染予防及び感染拡大の防止を図るため、すでに2月29日以降の講座をすべて中止していましたが、それに加えて部会、役員会、委員会等の活動を当面控えることにしました。そのため、3月の役員会及び委員会は一堂に会することなくメールによる審議・決定を行いました。

## ② 各種活動のまとめ

	活 動 区 分	回 数
1	総 会	1
2	役 員 会	1 2
3	委 員 会	1 2
4	会 計 監 査	2
5	学級講座	1 9
6	集団事業	3
7	協働事業	1 1
8	広報紙「わたしのおぎくぼ」の発行	6
9	実行委員会	2 1
1 0	地域懇談会	1
1 1	委員研修（館内 2、館外 1）	3
1 2	地域交流会 こみゆに亭	2
1 3	七館連絡会	5
1 4	部会	2 4 5
1 5	その他の活動	5 9
	合 計	4 0 2

### ③ 各部報告

#### [ 総 務 部 ]

名 称	開 催 日	内 容
総 会	5月10日(金)	委員の承認、30年度の事業報告、決算・会計監査報告、元年度の事業計画・予算案 自主財源の収入及び支出に関する予算修正
会 計 監 査	4月9日(火) 10月23日(水)	30年度 決算監査 元年度 上半期監査
委 員 研 修 (館 内)	4月9日(火) 12月3日(火)	協議会予算について 荻窪の歴史について 講師：松井和男 会議の進め方について 講師：山之内凜太郎
委 員 研 修 (館 外)	11月20日(火)	「日本銀行」「貨幣博物館」見学
地域懇談会	令和2年 2月1日(土)	町会、自治会、学校支援本部、ケア24、 ゆうゆう館、NPO、任意団体など参加
地域交流会 こみゆに亭	11月23日(土) 令和2年 2月15日(土)	西田、桃井第二小学校 生徒と保護者 町会、商店会、学校関係、ケア24、他の 地域の関係者
役員会・委員会	毎 月	毎月開催の役員会及び委員会資料の作成、 議事録作成
経 理 業 務	随 時	講座・講演会、祭りなど費用支出の管理、 予算執行全体の管理等

[事業企画部]

開催月	講座名：講師名	定員 (名)	単位 (回)	延べ参加 数 (人)
4月 (金)	1. ◎楽しいラジオ体操 協働先：全国ラジオ体操連盟 銚立和子氏	30	4	88
4月11日 (木)	2. 杉並区民と語る平成史 後藤 謙次 氏	50	1	43
5月 (土)	3. ロシア文学の自然と「武蔵野」 杉山 春子 氏	50	3	109
5月26日 (日)	4. ◎さいえんす縁日 協働先：サイエンスホッパーズ、 だいがしや楽校サイエンスくらぶ	—	1	300
6月8日 (土)	5. 初夏のハンギングプランター作り 吉野 華恵 氏	25	1	21
6月15日 (土)	6. 東京2020オリンピックの舞台裏 齋藤 泰雄 氏	50	1	26
6月 (水)	7. リズム&ストレッチ 後藤 鈴香 氏	30	4	102
6・7月 (木)	8. 現代の短編を読む 生田 美秋 氏	20	4	79
7月28日 (日)	9. はやぶさ2の挑戦 澤岡 昭 氏	50	1	50 (内:子供 10)
8月17日 (土)	10. 天皇の即位儀礼の変遷 山田 朗 氏	50	1	35
8月 (金)	11. ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング 安藤 操 氏	50	4	174

8月24日 (土)	12. ◎講談鑑賞会 「牡丹燈籠」、「栗橋宿」 神田 山緑 氏、田辺 銀冶 氏 協働先：荻窪警察署	50	1	67
9・10月 (水)	13.じっくり読む、松尾芭蕉「おくのほそ道」 林 誠司 氏	50	4	188
9月21日 (土)	14. ◎井之頭池の魚たちを捕って観察しよう 協働先：井之頭自然文化園 金原 功氏	40 (20組)	1	64 (32組)
10月 (木)	15. 楽しい朗読教室 岡 摂子 氏	20	4	105
10月12日 (土)	16. 荻外荘通りを歩こう 松井 和男 氏	20	1	17
11月6日 (水)	17. 国会見学会 堀越 富士夫 氏、川上 高志 氏	25	1	24
11・12月 (金)	18. ◎背骨をきたえよう！腰痛スッキリ体操 協働先：背骨コンディショニング協会 高橋 晃史 氏	30	3	80
11月12日 (火)	19. ◎講談出前授業 「耳なし芳一」 神田 山緑 氏 (会場：荻窪小学校)	(5・6年 生)	1	235
11月24日 (日)	20. ◎秋を楽しむ木の実工作教室 協働先：自然観察の会杉並 山室 京子氏	20	1	23
12月1日 (日)	21. 富士山は生きている 伊藤 和明 氏	50	1	43
12月8日 (日)	22. ◎荻窪寄席 「字幕付き落語会」 金原亭 馬玉 氏、翁家 和助 氏 共催：杉並区中途失聴・難聴者の会	70	1	76
12月15日 (日)	23. ◎防災フォーラム 共催：西荻地域区民センター協議会	—	1	385
1月19日 (日)	24. もっと知りたい中東 石田 聖 氏	50	1	58

2月 (土)	25. 初心者のための俳句教室 野崎 海芋 氏 (新型コロナウイルス感染症対策のため4回目を中止)	20	4	55
3月4日 (水)	26. ◎遺言・相続・成年後見制度 (新型コロナウイルス感染症対策のため中止)	50	1	
3月7日 (土)	27. 荻窪の在日ネパール人学校と多文化共生 (新型コロナウイルス感染症対策のため中止)	50	1	
合計27回 (◎協働事業10回・学級講座17回)		930	52	2,447
4月～ 3月	28. 「道の愛称をつけよう」プロジェクト 「荻外荘通り」の表示プレート設置5個所 及び荻窪地域区民センター屋外掲示板に掲出			
4月～ 3月	29. 「荻窪の記憶」プロジェクト ・荻窪の記憶③「南荻窪・宮前100年の歴史」の令和2年度展示に向け、サポーター(4名)とプロジェクト体制で活動 ・杉並区が荻窪駅地下通路(南口b階段付近)に「写真が伝える『荻窪の記憶』」パネルを設置するのに協力			

[地域交流部] 集団事業

事業名	開催月日	内 容
<p>第41回 おぎくぼ センター祭</p>	<p>6月22日(土) 23日(日)</p>	<p>☆来て!見て!体験して!楽しもう! をテーマに実施            舞台;ネパール民族舞踊、日本舞踊、フラダンス、大宮前郷土芸能、和太鼓、荻窪小ソラン、桃2小合唱、カンツォーネ、松溪中吹奏楽、カントリーミュージック、おやじバンド、落語等々            展示:荻窪警察署、荻窪消防署、保健センター、消費者センター、エネルギー協会他            体験:プラネタリウム、防災クイズ・防災食いなり寿司試食、交通安全クイズ、健康測定、折り紙教室            バルーンアート、缶バッジ作り、似顔絵、お茶席等々            販売:杉並野菜直販、低木の苗木配布、生花販売            ボーイスカウト、協議会の模擬店、静岡県南伊豆町、包丁砥ぎ、模擬店他            来場者数 2,230名 (前年度 1,950名)</p>
<p>第27回 本天沼集会所 まつり</p>	<p>10月20日(日)</p>	<p>舞台;天沼小吹奏楽、FUNK—A—HIPのヒップホップダンス            展示:押し花他            体験:押し花教室・オリジナル缶バッジづくり、似顔絵、折り紙、ヨーヨーつり、消防・防災クイズ            販売:杉並産野菜の販売・生花販売、協議会の模擬店、焼きそば、包丁砥ぎ他            来場者数 470名 (前年度 550名)</p>

<p>第40回 アート展</p>	<p>令和2年 2月22日(土) 23日(日)</p>	<p>展示：一般区民や愛好グループの各種アート作品 絵手紙、絵画、写真、書、篆刻、手工芸、 陶芸、模型「杉並の古民家」など、中学校3 校（松溪、神明、宮前）小学校4校（荻 窪、沓掛、西田、桃井第二）障害団体連合 会 他4団体の作品 特別展示：明田川 孝 の作品展示 来場者数 420名（前年度 600名）</p>
----------------------	-------------------------------------	--

〔地域交流部〕 協働事業

事業名	開催月日	内容・協働先	参加数
<p>◎ 地域ふれあい マチネコンサート 「音楽の旅」</p>	<p>11月9日(土) 午後</p>	<p>「荻窪音楽祭実行委員会」との 協働事業（「自主企画」部門で 参加して開催） 出演者 松岡直子（ピアノ）、加藤丈陽 （クラリネット）&amp;菊池沙織（ピ アノ）、中島満音（ソプラノ）&amp;ア マービレ・ピアノトリオ、野崎海 芋（俳人、朗読、お話）&amp;高橋由 紀子（ピアノ）、杉並弦楽合奏団 （指揮、横山淳）</p>	<p>176人</p>
<p>◎ 「あそび市」</p>	<p>10月12日(土) 午後 松溪中学校</p>	<p>缶バッジの提供 「あそび市実行委員会」との協働事 業（台風のため中止）</p>	
<p>◎ 「スマイル・ マーケット」</p>	<p>11月9日(土) 天沼中学校</p>	<p>缶バッジの提供 「天沼スマイル委員会」との協働事 業</p>	<p>387人</p>

## [広 報 部]

### 1. 荻窪地域区民センター協議会の広報紙 「わたしのおぎくぼ」の発行

(1) 発行回数 年 6 回 ( A 4 判・4 P・カラー印刷 )

(2) 発行部数 各 10,000部

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| ① 区立小学校5校・中学校4校配布用  | 4,380部 |
| ② 町会・自治会回覧配布用       | 2,414部 |
| ③ 区及び区関連施設等配布用(交換便) | 1,144部 |
| ④ 協議会委員による配布        | 1,017部 |
| ⑤ 常設設置場所・その他配布用     | 1,045部 |

合計 10,000部

(3) 発行日

- |          |   |          |
|----------|---|----------|
| ① No.339 | 6月・7月号(表紙 おぎくぼセンター祭)                      | 5月28日発行  |
| ② No.340 | 8月・9月号(表紙 ホームページのご案内)                     | 7月16日発行  |
| ③ No.341 | 10月・11月号(表紙 本天沼集会所まつり<br>・地域ふれあいマチネコンサート) | 9月24日発行  |
| ④ No.342 | 12月・1月号(表紙 荻外荘プレート設置)                     | 11月27日発行 |
| ⑤ No.343 | 2月・3月号(表紙 アート展・委員募集)                      | 1月29日発行  |
| ⑥ No.344 | 4月・5月号(表紙 会長挨拶・新年度の行事)                    | 3月17日発行  |

(4) 編集内容

- ① 総会、地域懇談会、協議会活動の報告
- ② 年間行事(イベント・講座・講演等)の案内・募集告知及び報告
- ③ 企画シリーズの掲載(この街にこの人あり、「荻窪の記憶」こぼれ話、  
新連載:地域の小中学校紹介)

### 2. 協議会主要イベント・講座・講演等の記録写真撮影

広報部内で担当を割り振り、全行事に立ち会い、HPで報告を行う

### 3. ホームページの改善と活用強化

- ・ 「お知らせ」の掲載頻度の向上 掲載件数:今年度51件(前年度33件)
- ・ スマホ閲覧時に見やすい画面とする改善を実施(トップページ他)
- ・ 協議会専用サイトの新設と改善 委員会資料・アンケート・スケジュール

## 第 2 号 議 案

### 令和元年度 事業会計収支決算報告

(平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで)

収入決算額	10,883,487
支出決算額	9,351,730
差引残高	1,531,757

区への返還金	785,963
差引翌年度繰越金	745,794

#### I. 収 入

(単位 円)

区分	予算額	決算額	差引 差額	差額 (うち区補助金)	差額 (うち自主財源)
1. 区補助金	9,000,000	9,000,000	0	0	0
①委員活動費	4,345,500	4,345,500	0	0	0
②事業費	4,362,500	4,362,500	0	0	0
③事務局運営費	292,000	292,000	0	0	0
2. 諸収入	1,063,000	1,134,616	71,616	0	71,616
①事業参加費収入	180,000	210,350	30,350	0	30,350
②自動販売機手数料収入	600,000	695,222	95,222	0	95,222
③模擬店収入	280,000	191,630	△88,370	0	△88,370
④雑収入	3,000	37,414	34,414	0	34,414
3. 前期繰越金	748,871	748,871	0	0	0
収入合計	10,811,871	10,883,487	71,616	0	71,616

※収入については予算の修正はありませんでした。

## Ⅱ. 支 出

(単位 円)

	予算額	修正額	修正後 予算額	決算額	差引差額	差額 (うち区 補助金)	差額 (うち自主 財源)
1. 委員活動費	4,345,500	0	4,345,500	3,621,000	724,500	724,500	0
2. 事業費	5,272,371	0	5,272,371	5,123,431	148,940	61,463	87,477
①学級講座費	535,000	142,284	677,284	677,284	0	0	0
②集団事業費	1,611,000	△170,107	1,440,893	1,404,954	35,939	35,939	0
③地域活動事業費	35,000	2,260	37,260	37,260	0	0	0
④懇談会費	60,000	31,324	91,324	91,324	0	0	0
⑤広報活動費	1,350,000	43,248	1,393,248	1,377,818	15,430	0	15,430
⑥総会費	60,000	△18,961	41,039	30,518	10,521	9,482	1,039
⑦保険料	66,500	13,200	79,700	69,404	10,296	10,296	0
⑧事務費	493,871	△43,248	450,623	446,040	4,583	0	4,583
⑨交通・通信費	40,000	0	40,000	26,122	13,878	0	13,878
⑩渉外費	46,000	0	46,000	34,754	11,246	5,746	5,500
⑪協働事業費	975,000	0	975,000	927,953	47,047	0	47,047
3. 事務局運営費	342,000	0	342,000	309,585	32,415	0	32,415
4. 委員研修費	200,000	0	200,000	99,827	100,173	0	100,173
5. 諸支出金	452,000	0	452,000	197,887	254,113	0	254,113
6. 予備費	200,000	0	200,000	0	200,000	0	200,000
支出合計	10,811,871	0	10,811,871	9,351,730	1,460,141	785,963	674,178

Ⅲ. 残高(収入-支出)	0	0	0	1,531,757	1,531,757	785,963	745,794
--------------	---	---	---	-----------	-----------	---------	---------

(区への返還金) (翌年度繰越金)

## 貸 借 対 照 表

令和2年3月31日現在 (単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
普通預金	1,531,757	区への返還金	785,963
		負債合計	785,963
		正味財産の部	
		前期繰越金	748,871
		当期収支差額	△ 3,077
		正味財産合計	745,794
資産合計	1,531,757	負債・正味財産 合計	1,531,757

# 会 計 監 査 報 告

令和2年4月7日(火)

荻窪地域区民センター協議会

会 長 檜 枝 光 太 郎 様

会計監事 加藤 俊也 

会計監事 伊藤 経江 

荻窪地域区民センター協議会監査規則に基づき、令和元年度 収支決算について関係帳簿・起票書類を監査したところ、いずれも財務規則に準拠し、適正、正確に処理されていることを認めます。

以 上

# 第 3 号 議 案

## 令和 2 年度 事業計画 (案)

### ① 概 要

国は新型コロナウイルスへの対応として、4月7日緊急事態宣言を7都府県に発令し、密閉、密集、密接のいわゆる『3つの密』の環境を避けるほか、他人との接触回数や外出を極力控えるなど、一人一人の行動変容を呼び掛けました。緊急事態宣言は、5月31日までさらに延長され、地域区民センターも現時点で5月31日まで全面休館となっています。協議会では引き続き新型コロナウイルスの感染予防及び感染拡大の防止を図るため、すでに4月から7月までに予定していたすべての事業を中止しました。今後の事業の実施の見通しが立たない状況ですが、早期に新型コロナウイルス感染症が終焉し、事業展開できることを前提に計画を立てました。なお、新型コロナウイルス感染症対策の状況に応じて、必要な計画の見直しを行います。

荻窪地域区民センター協議会の活動指針を以下のようにしました。

「ふれあいと交流」を基本に、一步進めて、地域課題を解決するため  
に、地域で活動する様々な団体を結び、ネットワークを作り、地域を活性化していきます。

前年度の事業を基本としながら、上記の活動指針になるべく沿うように計画を見直して充実させることを目標にします。以下にテーマごとに纏めて概要を記載します。

1. 地域ネットワーク：前年度に開始した地域交流会「こみゆに亭」は、食を共にすることがコミュニティ作りに極めて有効であることを示しました。これをさらに有効に生かして協議会の企画として定着させるために、6回開催します。なお、徒歩圏内の地域住民が気楽に立ち寄り、おしゃべり・いこい・情報交換などをする場としての「コミュニティカフェ」のような企画の立ち上げも検討します。

「地域懇談会」と「防災フォーラム」は町会を中心とした地域団体との連携を深める機会としてさらに充実させます。

「荻窪の記憶プロジェクト」では、前年度準備した南荻窪・宮前のパネル展示「荻窪の記憶Ⅲ 南荻窪・宮前 100年の歴史」を行い、身近な町と歴史に親しんでもらいます。過去4年間のプロジェクトの成果をまとめて冊子として出版します。

「道の愛称プロジェクト」では、「荻外荘通り」の認知度を高め定着・普及させる取り組みを進めます。

他にも地域のニーズを的確にとらえた課題があれば、新しいプロジェクトを立ち上げて取り組みます。

町会・自治会等の会合に協議会メンバーが参加し連携を強化する機会を模索します。

2. まつり：地域の皆さんのふれあいと交流の場となる「おぎくぼセンター祭」、「本天沼集会所まつり」、「アート展」の3大イベントをさらに充実します。

3. 芸術・芸能鑑賞：「講談鑑賞会」、地域の小学生に伝統芸能の講談を紹介する「講談出前授業」、中途失聴・難聴者の皆さんにも楽しんでもらえる「荻窪寄席」、荻窪音楽祭と連動した「地域ふれあいコンサート」は、地域活性化の視点でさらに充実して行います。

4. 多彩な講座：健康講座・教養講座など各種講座を多数開催し、地域の方々の生活を豊かにし、知的向上心を刺激し、健康増進に結びつく「きっかけ（第一歩）」を提供するための魅力ある企画を提供します。

5. 児童向け企画：幼稚園生・小学生の親子連れを主な対象とした「さいえんす縁日」、井の頭公園を会場にした「野外講座」、1で述べた「こみゆに亭」などを行い、子どもを通じて地域の活性化を目指します。

6. 広報：隔月発行の広報紙「わたしのおぎくぼ」の充実を図り、区関連施設、地域内の区立小中学校9校全生徒、町会、委員による配布等を通じて、地域に役立つ情報を提供します。並行し、「ホームページ」の活用によるタイムリーな情報発信を心掛けます。また、本年度末には協議会の2年間の活動をコンパクトにまとめ、「活動報告書」を発行します。

## ② 各部計画(案)

部門	事業・活動	項目	回数	開催予定・ 単位数等
総務部	総務活動	定期総会	1回	5月
		会計監査	2回	4月・10月
		役員会・委員会	24回	毎月
		地域懇談会	1回	10月
		館内研修	3回	随時
		館外研修	1回	10月
		地域交流会こみゆに亭	6回	隔月
		総務・会計業務全般		随時
事業企画部 (センターカレッジ部を含む)	講座・講演	教養・文学講座	7回	22単位
		医療・健康・スポーツ講座	4回	16単位
		地域の歴史講座	2回	2単位
		趣味講座・その他	6回	7単位
	協働事業	防災イベント、科学イベント 荻窪寄席、講談鑑賞会 ラジオ体操、野外講座、俳句 荻窪の記憶、道の愛称	9回	20単位
地域交流部	集団事業	おぎくぼセンター祭	1回	6月
		本天沼集会所まつり	1回	10月
		アート展	1回	令和3年2月
	協働事業	地域ふれあいコンサート あそび市 松溪中学校	1回 1回	11月 10月
広報部	広報活動	広報紙「わたしのおぎくぼ」 ホームページの改善・充実	6回	奇数月発行 随時
		活動報告書(隔年誌)	1回	令和3年3月
共通活動		七館連絡会	6回	各部1回～2回
		部会	204回	4部×51回
		実行委員会	30回	6実行委員会

# 第 4 号 議 案

## 令和 2 年度 収支予算 (案)

### I. 収 入

(単位 円)

区分	令和 2 年度 予算額	令和 2 年度 予算額 (うち補助金)	令和 2 年度 予算額 (うち自主財源)	令和元年度 予算額 (修正後)	差額
1. 区補助金	9,000,000	9,000,000	0	9,000,000	0
①委員活動費	3,856,500	3,856,500	0	4,345,500	△489,000
②事業費	4,943,500	4,943,500	0	4,362,500	581,000
③事務局運営費	200,000	200,000	0	292,000	△ 92,000
2. 諸収入	442,000	0	442,000	1,063,000	△ 621,000
①事業参加費収入	174,000	0	174,000	180,000	△6,000
②自動販売機手数料収入	5,000	0	5,000	600,000	△595,000
③模擬店収入	260,000	0	260,000	280,000	△ 20,000
④雑収入	3,000	0	3,000	3,000	0
3. 繰越金	745,794	0	745,794	748,871	△ 3,077
合計	10,187,794	9,000,000	1,187,794	10,811,871	△624,077

## Ⅱ. 支 出

(単位 円)

区分	令和2年度 予算額	令和2年度 予算額 (うち補助金)	令和2年度 予算額 (うち自主財源)	令和元年度 予算額 (修正後)	差額
1. 委員活動費	3,856,500	3,856,500	0	4,345,500	△ 489,000
2. 事業費	5,451,794	4,943,500	508,294	5,272,371	△ 179,423
①学級講座費	521,000	486,000	35,000	535,000	△14,000
②集団事業費	1,410,000	1,380,000	30,000	1,611,000	△201,000
③地域活動事業費	40,000	40,000	0	35,000	5,000
④懇談会費	230,000	70,000	160,000	60,000	170,000
⑤広報活動費	1,395,000	1,375,000	20,000	1,350,000	45,000
⑥総会費	40,000	20,000	20,000	60,000	△20,000
⑦保険料	80,000	63,000	17,000	66,500	13,500
⑧事務費	405,794	372,000	33,794	493,871	△88,077
⑨交通・通信費	40,000	40,000	0	40,000	0
⑩渉外費	50,000	25,000	25,000	46,000	4,000
⑪協働事業費	1,240,000	1,072,500	167,500	975,000	265,000
3. 事務局運営費	250,000	200,000	50,000	342,000	△ 92,000
4. 委員研修費	100,000	0	100,000	200,000	△100,000
5. 諸支出金	329,500	0	329,500	452,000	△122,500
6. 予備費	200,000	0	200,000	200,000	0
合計	10,187,794	9,000,000	1,187,794	10,811,871	△ 624,077

(参考資料)

## 委員名簿

令和2年4月1日現在

役職・所属		氏名	期	住所	推薦団体	補充
会長		檜枝 光太郎	21期	荻窪	町会	
副会長		丹羽 健雄	21期	宮前		
		染谷 貞夫	21期	天沼		
会計監事 (2名)		加藤 俊也	21期	荻窪		
		伊藤 佳江	22期	荻窪		
(経理担当) 総務部 (3名)	◎	中田 あつ子	21期	荻窪	町会	
		大矢 正男	22期	荻窪		
		船津 まさ子	22期	宮前	町会	
地域交流部 (6名)	◎	丹羽 健雄	21期	宮前		
	○	伊藤 節子	21期	南荻窪	町会	
		高橋 昭浩	22期	荻窪		
		萬 靖義	22期	荻窪		○
		影山 健次	22期	宮前		○
		杉浦 和子	22期	荻窪		○
事業企画部 (7名) (センターカレッジ部を兼務)	◎	染谷 貞夫	21期	天沼		
	○	萩原 伸一	21期	荻窪		
		松崎 茂一郎	21期	宮前	ケア24	
		南 秀郎	21期	上荻	NPO	
		本田 良夫	22期	天沼	すぎなみ文化協会	
		末次 幸	22期	荻窪		○
		恵羅 博	22期	荻窪	町会	○
広報部 (3名)	◎	横尾 耕一	21期	荻窪	町会	
		中田 悦子	22期	荻窪	町会	
		茂木 愛一郎	22期	天沼	町会	
22名	◎印：部長 ○印：副部長 21期：10名、22期：12名（内5名は補充委員）					